

● 初学者からベテラン鍼灸師まで、好評の連載。

鍼灸にまつわる様々な話題

明治国際医療大学・篠原昭二先生の

「鍼灸百話」(117号から)

症例報告に学ぼう

中医臨床家が報告する

「興味深い鍼灸症例」

譚源生先生の

「鍼灸の弁証論治形成の謎を解く」(115～117号)

そのほか、全国の臨床鍼灸師からの臨床レポート「鍼灸症例報告」、臨床家・臨床現場取材した「インタビュー」「レポート」、中国の雑誌文献からトピックスとなる記事を紹介する「クローズアップ鍼灸」など、毎号盛りだくさんの内容を掲載しています。

● 弁証論治トレーニング — 具体的な症例を例題にして弁証能力を高める。

呉澤森先生と高橋楊子先生が出題と読者回答へのコメントを担当。読者に対するコメントもていねいかつ的確で、臨床教育の活きた現場といえる内容になっています。理論的にもレベルの高い講義です。

抗がん剤による白血球数低下(101号)
食欲減退・倦怠感がひどい(102号)
脱毛と突発性難聴(103号)
脇部・上腹部の脹痛(104号)
嘔声(しわがれ声)(105号)
梅核気(106号)
脱肛(107号)
慢性口内炎(108号)
急性尿道炎(109号)

カゼ・気管支炎(110号)
口臭・体臭(111号)
疲れやすい・目の違和感(112号)
疲れやすい(113号)
心窩部および左背部の激痛(114号)
湿疹・眼痛・顔面の痺れ(115号)
月経随伴性気胸(116号)
胸骨柄の痛みや不快感(117号)
低カリウム性周期性四肢麻痺(118号)

● 鍼灸質問コーナー — すべての読者の疑問に答えます。

鍼灸学校の学生や講師、開業されている鍼灸師の読者から寄せられた質問に、高レベルの回答で講義する好評のコーナー。

90号◇顔面紅疹の症例。 王財源
膈中の刺し方。 金子朝彦
各種弁証の使い分け。 関口善太
食滞と食積。 戴昭宇
91号◇驚は心と腎のどちらに属すか。 土屋憲明
幽門と腎。 割石務文
癆と弱。 左合昌美
92号◇衛気とはどんなものか。 関口善太
視野狭窄の症例。 呉澤森
押し手の必要性。 何金森
承扶穴に施灸することはあるのか。 福島哲也
諸陽の会と諸陰の交。 左合昌美
93号◇衛気と営気。 左合昌美
拇指腱鞘炎の治療法。 西田皓一
上星穴の刺し方。 趙吉平
幻肢痛の症例。 何金森
94号◇弾発指の治療。 西田皓一
膝関節の水腫の弁証法。 邵輝
尺沢穴の位置。 朱江
中国針の太さ。 何金森
95号◇神門穴の位置。 朱江
毫刺と点刺。 王財源
毫針の基礎練習。 徐恒沢
奇恒の腑の1つ「脳」。 左合昌美
96号◇原穴の刺針法。 邵輝
罷極の本。 左合昌美
脈象と六部定位脈診。 王財源
97号◇交会穴。 楊芳・朱江
衛気はどこから出るのか。 左合昌美
潮熱。 邵輝

98号◇鬼門とは何を指すか。 岩井祐泉
外感病と内傷病の関連。 王財源
「衛気は膀胱の津液が気化されてできる」という説。 左合昌美
99号◇肝の位置。 王財源
命門・腎俞・志室・京門穴の関連と使い分け。 朱江
陽蹻の別絡はなぜ中衝なのか。 左合昌美
100号◇地機穴の位置。 朱江
奇恒の腑はなぜ女子胞だけなのか。 左合昌美
脈の取り方。 賀偉
101号◇虚熱の場合、灸法を用いないほうがよいのか。 浅川要・福島哲也
針の深度をどう考えるか。 遠藤美穂
102号◇日本の鍼灸師に弁証論治は必要か。 石川家明
胃経は陽経なのに、なぜ陰である腹部を走行しているのか。 左合昌美
各種の刺針法について。 遠藤美穂
さまざまな灸法の作用と使い分け。 早川敏弘
103号◇精血同源に解説される『血能化精』の解釈について。 王財源
血瘀の治療では、たんに局所に刺絡するだけでよいのでしょうか。 大谷泰弘
中国針と和針の使い分け。 遠藤美穂
104号◇施術環境と鍼灸治療法の関係。 早川敏弘
補瀉と自律神経の関係。 遠藤美穂
根結とは具体的な経穴を指すのか。 左合昌美
105号◇日本の実情にあった季節の治療。 早川敏弘
補瀉の手法の選択はどうすればいいの？ 遠藤美穂
106号◇風寒=緊脈ってホント？ 早川敏弘

生体が虚しているときの補法のドーゼ調節。 遠藤美穂
107号◇患者さんに薬膳(食養)を続けてもらうには。 大石京子
「七表八裏九道の脈」の脈象分類。 王財源
108号◇穴性の作用の時間差について。 藤井正道
湯液と食事療法の共通点や相違点。 大石京子
爪甲診について。 呉澤森
109号◇八脈交会穴の呼称。 左合昌美
阿是穴と肩こりをどうみるか。 藤井正道
活血や化痰の食事療法の工夫。 大石京子
110号◇五悪について。 左合昌美
暑邪について。 益田尚
燥邪について。 藤井正道
111号◇膀胱の気化作用。 左合昌美
痰と湿の違い。 益田尚
近位選穴と遠位選穴の効果。 藤井正道
112号◇胆は六府からはすすべきか。 左合昌美
春の主気。 藤井正道
113号◇原穴に留止する原気。 左合昌美
問診の応用。 金本貴行
「ツボ」の呼称の由来。 浅川要
114号◇手太陰肺経と足厥陰肝経はどこで接続するのか？ 左合昌美
中医薬用語に親しむ工夫。 金本貴行
115号◇証の治療でより効果を上げるコツは？ 金子朝彦
116号◇脈診は左右両手を診るべきか。 山田勝則
さらに証の治療で効果を上げるコツは？ 金子朝彦
117号◇有力な脈と無力な脈の見分け方。 山田勝則
上手く弁証を導く工夫。 金子朝彦
118号◇弁証の精度向上につながる問診時の注意点。 高土将典